

産業廃棄物の不法投棄等の状況(2018年度)について



環境省は、2018年度の産業廃棄物の不法投棄や不適正処理事案等について調査結果を公表しました。結果の概要は以下のとおりです。

- (1) 2018年度に新たに判明した不法投棄事案の件数は、155件(前年度 163件、前年対比-8件)、不法投棄量は15.7万トン(同 3.6万トン、同+12.1万トン)でした。
 - (2) 2018年度に新たに判明した不適正処理事案の件数は、148件(前年度 161件、前年対比-13件)、不適正処理量は5.2万トン(同 6.0万トン、同-0.7万トン)でした。
 - (3) 2018年度末における不法投棄等の残存事案は、2,656件(前年度 2,630件、前年対比+26件)、残存量の合計は1,561.4万トン(同 1,559.4万トン、同+2.1万トン)でした。
- ※量については、四捨五入で計算して表記しているため、合計値が合わないことがあります。

不法投棄の新規判明件数は、約20年前に比べて大幅に減少しており、一定の成果が見られます。しかし、不適正処理とともにいまだ撲滅するには至っておりません。

残存事案に対する都道府県等の対応としては、現に支障が生じている13件については、支障除去措置を実施予定です。支障のおそれがある90件については、その状況により支障のおそれの防止措置、周辺環境モニタリング、状況確認の立入検査などを実施または実施予定です。

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 [2019年12月24日付 環境省報道発表資料](#)

土壌環境箇所 坂田旭子

